

放課後等デイサービス事業所における自己評価

回答数：6名

		はい	どちらでもない	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	83.3	16.7	0.0	0.0	クリニックスペースとの共有。屋外での活動も多い。		
	2	100.0	0.0	0.0	0.0			
	3	16.7	66.7	16.7	0.0	トイレには手すりあり。フロアーに段差は特にないが、全てをバリアフリー化していないため、必要に応じて職員が対応している。		
業務改善	4	50.0	50.0	0.0	0.0	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している		
	5	16.7	16.7	66.7	0.0	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげている		
	6	16.7	0.0	83.3	0.0	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表している	今後、毎年度評価を行い、公開していく。	
	7	16.7	33.3	50.0	0.0	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		
適切な支援の提供	8	100.0	0.0	0.0	0.0	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保している		
	9	100.0	0.0	0.0	0.0	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している		
	10	33.3	33.3	16.7	16.7	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	日々の支援で見えてきた子どもの行動や保護者からの情報を聞き、スタッフ間で話しあっている。	
	11	83.3	16.7	0.0	0.0	活動プログラムの立案をチームで行っている	週末に職員全員で翌週活動の話し合いを行っている。	
	12	83.3	16.7	0.0	0.0	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	行事、イベント等の情報収集。週1回話し合い、その際、子どもからの要望も盛り込むようにしている。	
	13	66.7	16.7	16.7	0.0	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	長期休暇限定の特別なプログラム（宿泊など）の設定。	
	14	100.0	0.0	0.0	0.0	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		
	15	100.0	0.0	0.0	0.0	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	出社後に1時間の会議時間を設けている。	
	16	100.0	0.0	0.0	0.0	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		
	17	100.0	0.0	0.0	0.0	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	子ども一人ひとりの日誌を作成している。	
	18	100.0	0.0	0.0	0.0	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している		
	19	66.7	16.7	0.0	16.7	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている		
	関係機関や保護者との連携	20	100.0	0.0	0.0	0.0	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	
		21	50.0	50.0	0.0	0.0	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	特別支援学校に関しては、FAXで情報があり、下校時間は保護者と確認している。学校との連絡調整は学校、保護者が必要な時に行っている。
		22	0.0	33.3	66.7	0.0	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	
		23	16.7	33.3	50.0	0.0	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	
		24	100.0	0.0	0.0	0.0	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	進学、就職に向けた会議への参加。計画相談員と連携し、障害福祉サービス事業所等に情報提供している。
		25	16.7	16.7	66.7	0.0	児童発達支援センターや発達障害しゃ支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	
		26	100.0	0.0	0.0	0.0	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	海での活動において、一般の子どもたちと同じプログラムに参加している。
27		16.7	33.3	50.0	0.0	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		
28		100.0	0.0	0.0	0.0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	帰宅時に1日の様子等を保護者に伝えたり、個別支援計画の面談などで共有している。	
保護者への説明責任等	29	16.7	33.3	50.0	0.0	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	講演会、研修会の情報提供。コンディショニングの提案。	
	30	83.3	16.7	0.0	0.0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に説明を行っている。	
	31	66.7	33.3	0.0	0.0	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	保護者からの相談対応。学校での話し合いに参加。	各スタッフが必要な助言、対応ができるよう取り組んでいく。
	32	50.0	50.0	0.0	0.0	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	父親ボウリング大会、親子BBQ、周年祭の開催	回数を増やしたり、定期的に行う等改善が必要
	33	83.3	16.7	0.0	0.0	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	第三者委員を設けている。	
	34	66.7	33.3	0.0	0.0	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	スケジュール表の作成を行い、活動内容の詳細も含めて、メールにて連絡している。	
	35	100.0	0.0	0.0	0.0	個人情報に十分に注意しているか		
	36	83.3	16.7	0.0	0.0	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	活動内容を写真やイラストにして提示している。	
	37	33.3	33.3	33.3	0.0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	イムア祭を開催した。周年祭には、外部関係者を招待している。	
非常時等の対応	38	0.0	66.7	33.3	0.0	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを作手し、職員や保護者に周知しているか		緊急時対応マニュアルの種類を増やしていく。
	39	100.0	0.0	0.0	0.0	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	地震、消防訓練の実施。	
	40	100.0	0.0	0.0	0.0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	年1回の内部研修の実施。	
	41	50.0	16.7	33.3	0.0	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	同意書を作成し、保護者より同意を得ている。	
	42	0.0	16.7	83.3	0.0	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	保護者や本人より通知あれば対応し、特に調理活動の際には保護者へ確認している。	
	43	0.0	16.7	83.3	0.0	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ミーティングで共有し、議事録に残している。	活動、イベント時に起こりうる事故を今以上に明確にしておく必要あり。

(単位：%)